

原発事故と食の安全 (16)

2011年3月11日から始まった原発過酷事故から早5年が過ぎようとしています。膨大な量の汚染水、汚染表土、瓦礫などの蓄積、海洋汚染等解決のできない難問は放置されたまま、避難者の帰郷の目途も立たず、甲状腺がんの多発が指摘される事態になっています。このような中で、最も危険で、人類と共存できないことが、誰の目にも明らかになったエネルギー源としての原発が、またもや再稼働されました。まさに狂気の沙汰としか思えません。

これまで何度か放射能汚染による被害症状について、この欄でお知らせしてきました。筋肉痛や頭痛、長引く咳、体のだるさ、湿疹等の原因を調べて行き、放射性セシウムが原因と判明すると、多くの方は驚かれます。忘れやすい日本人の特徴なのでしょうか。まだ5年しか経過していないのですが、食物に注意して除染の方法を実施していただくと、大抵は2週間から1か月で、問題の症状は消えていきます。

中には、何か月も症状が続き、困り果てて調味料からすべての食材のチェックを行うことがあります。そんな方の中に、自分のうちで作っている有機野菜がすべて汚染されていた方がおられました。原因を調べますと、肥料として使っていた油粕でした。おうちの野菜をすべて湯がき、除染してから食べていただくようにして、症状は軽快しています。他にも、原因不明の手指の痛みが強く、ペンも持てず、触ると、痛みが強く半年余り不登校になっている男子が関東のほうからいらして調べました。もちろんCTやMRI、X線、血液検査、心療内科など多くの病院を受診しても原因不明で痛み止めも、ほとんど効かないと言われます。慎重に調べていきましたが、外傷のあとに、食物などのアレルギー物質が蓄積し、炎症が慢性的に持続、循環が悪くなっている所に、放射性ストロンチウムの蓄積が起こり、骨膜から骨に取り込まれ、痛みがきているものと考えられました。すぐにキレート剤、カルシウムを、お勧めしましたが、かなり時間が過ぎているので、どの程度有効かは今のところ不明です。同じような方でも痛みがきて1~2週間位なら、数日間のキレート剤治療で治ります。関東以北ではこのような方が多いのではないかと思います。キレート剤としては、「中国パセリ」やコリアンダーリーフを使います。東南アジアや中国ではお料理の中にコリアンダーリーフをよく使いますが、日本では慣れていないため食べにくいかわかりません。そんな場合は、有効成分を錠剤化した「中国パセリ」(CILANTRO)が服用しやすいです。ORT生命科学研究所から販売されています。健らいとには、両方とも置いてありますので、必要な方はお持ちになって下さい。また、食品の放射能汚染の測定は健らいとで承っておりますので、必要な方はお申込み下さい。専門の放射線技師の方が測定されます。

鈴木富美